

## 公開シンポジウム「遺伝子組換え植物研究の現状と課題」

我が国では、遺伝子組換え植物を用いた基礎研究は極めて活発であり、多くの優れた研究成果が出ているものの、我が国で開発された遺伝子組換え植物について野外試験実施例や実用化事例は極めて少ない。植物科学の今後の発展のために、そのような現状を多くの植物科学研究者が認識・共有し、関係者全員で解決策を探り、研究環境整備や社会受容促進等を実行することが強く求められている。日本学術会議においても、植物科学分科会をはじめとする複数の分科会でこの点が議論されており、植物科学分科会では、「我が国における遺伝子組換え植物研究とその普及に関する現状と問題点」（仮題）と題する報告書がまとめられつつある。そこで、遺伝子組換え植物研究に関する我が国の現状と課題について、関係者全員で情報を共有し、研究環境整備、社会受容を促進するための具体的方策等について討論する。

1. 主 催：日本植物学会、日本学術会議基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学委員会合同 植物科学分科会
2. 日 時：平成21年9月17日（木） 13：00～15：30
3. 場 所：山形大学地域教育文化学部B棟B31教室  
（山形市小白川町1丁目4-12）
4. 次第

13：00－13：10 挨拶

福田 裕穂（東京大学教授、日本学術会議連携会員）

13：10－13：35 講演1

「遺伝子組換え植物研究を巡る日本および世界の現状」

鎌田 博（筑波大学教授、日本学術会議連携会員）

13：35－14：00 講演2

「遺伝子組換え植物と生物多様性影響評価」

伊藤 元巳（東京大学教授）

14:00-14:25 講演3

「遺伝子組換え食品の安全性評価」

手島 玲子（国立医薬品食品衛生研究所代謝生化学部長）

14:25-14:50 講演4

「遺伝子組換え食品の安全性評価」

小野 道之（筑波大学准教授）

14:50-15:30 総合討論

・座長

福田 裕穂（東京大学教授、日本学術会議連携会員）

・パネリスト

鎌田 博（筑波大学教授、日本学術会議連携会員）

伊藤 元巳（東京大学教授）

手島 玲子（国立医薬品食品衛生研究所代謝生化学部長）

小野 道之（筑波大学准教授）

河野 重行（東京大学教授、日本学術会議連携会員）

#### 【参加申込方法】

参加申込は不要です。当日会場までお越しください。参加費は無料です。